

提供日 2015/10/24

タイトル グランシップ伝統芸能シリーズ「グランシップ静岡能」

担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

かつて江戸城で上演された能をグランシップで再現！
グランシップ伝統芸能シリーズ「グランシップ静岡能」
—徳川家康公顕彰四百年記念—

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、「グランシップ伝統芸能シリーズ」として、年間通して歌舞伎、文楽、能楽をお楽しみいただける公演を実施しています。今年度シリーズ最後の「グランシップ静岡能」は、新春を華やかに彩る本格的な能楽公演として例年人気を博しています。今年は、シリーズのテーマ「武士の文化」をもとに、かつて江戸城で上演された式楽としての能をグランシップで再現し、長い歴史の中で守られてきた伝統芸能に触れてもらう機会です。

2 概要

区分	内容
公演名	グランシップ伝統芸能シリーズ「グランシップ静岡能」
日時	2016年1月24日(日) 14:00開演(13:30開場)
会場	グランシップ 中ホール・大地(静岡市駿河区池田79-4)
チケット	一般5,100円 子ども・学生1,000円 <チケット発売中> ※未就学児入場不可 チケットのお申込み・お問い合わせ/グランシップチケットセンター054-289-9000 グランシップホームページ/ http://www.granship.or.jp/audience/event.php?id=1204
公演内容 ・ 出演	・2015年の徳川家康公顕彰四百年を記念して、家康公150年忌(1765年)、200年忌(1815年)に江戸城において行われた能の演目を再現します。 ・当時の江戸城で上演した式能と同じように、出演者は江戸時代の正装とされる素袍袴や侍烏帽子の出で立ちで登場します。 ・ロビーでは能楽研究の世界的拠点として、調査研究を行っている野上記念法政大学能楽研究所の協力を得て、江戸時代の能楽公演の様子が分かる資料を展示します。 素謡「翁」、舞囃子「加茂」、能「八島」、狂言「末広がり」 出演：宝生和英(宝生流第二十代宗家)、和泉流狂言師 ほか
主催	公益財団法人静岡県文化財団、静岡県、静岡県能楽協会、静岡新聞社・静岡放送
協力	株式会社紺文、野上記念法政大学能楽研究所
後援	静岡県教育委員会

3 関連イベント(グランシップ伝統芸能普及プログラム)

- 12/14(月) ・宝生和英による三嶋大社舞殿での能の奉納
・「大社の杜みしま」でのミニトーク
※詳細時間は後日発表

4 お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：(公財)静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 (担当：法月・渡邊)